

「好ましくない研究行為(QRP)」への 対応から考える研究データ管理

研究不正を疑われている事象は、特定不正行為（捏造、改ざん、盗用=FFP）だけでなく、うっかりミスや善意に基づく行動、その行為をしてはならないと知らなかったようなもの（好ましくない研究行為=QRP）も多く含まれます。

QRPが発生した場合どうしたらよいでしょうか。そのQRPが故意のFFPではないということを主張するためには、その事象の経過や原因を探る必要がありますが、このためにはデータに追跡可能性があることが重要です。追跡可能性を担保するための一番大きな手掛かりが「メタデータ（データを説明するためのデータ）」です。

では、自分の研究のメタデータとして何を記録すればいいのか。残念ながら「これを揃えればいいですよ」という正解はありません。研究に係るステークホルダーがみんな必要とされるメタデータの範疇を考えるしかないのです。本セミナーでは、研究の公正性を担保するためのメタデータの考え方をみなさんと考えてみたいと思います。島根大学に所属するすべての研究者の方々、研究者としてのキャリアを志す学生の皆さん、研究支援業務に携わる職員の方々など多くの皆様のご参加をお待ちしています。

講師

飯室 聡 氏

国際医療福祉大学 医学研究科公衆衛生学専攻 教授
同 研究基盤管理室 室長
同 研究倫理支援室 室長

1995年 東京大学医学部保健学科 卒業

1999年 同大学医学科 卒業

2006年 同大学院医学系研究科内科学専攻 修了

その後 東大病院、大宮赤十字病院、北里大学病院循環器内科にて臨床医として勤務

2006年- 東京大学大学院医学系研究科生物統計学 特任助教

2012年- 東京大学医学部附属病院 臨床研究支援センター 助教

2014年- 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 准教授

2015年- 帝京大学 臨床研究センター 教授

2019年- 現在に至る

日時

2025年 2月 3日 月 15:00~16:00

場所

オンライン配信

対象

島根大学の全教職員、学生

申込

<https://forms.office.com/r/KNMbslS748>

上記URLもしくはQRコードからお申込みいただくと、

当日の接続先リンクがメールで自動送付されます。

申込後、メールが届かない場合は以下までご連絡ください。

お申込用QRコード



※お手持ちのスマートフォン等で読み取ると直接申込みフォームへアクセスできます。